

フルペーパーレスで患者情報を一元化

病床数400、日に平均900人の外来患者がある長野市民病院では、これまでは紙と電子のカルテを併用。デジタルカメラで撮

業種

医療機関

活用分野

病院業務全般のデジタル化・連携

テクノロジー

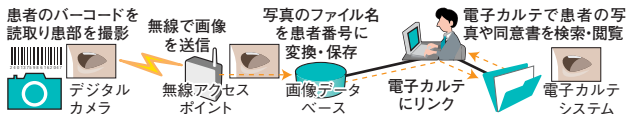
バーコード、無線対応デジタルカメラ

影した患部写真はプリンタで印刷し紙カルテに綴るスタイルをとっていた。作業効率を上げ、貼り間違いなどのミスを防ぐため、2011年2月にフルペーパーレス化、および電子カルテでの患者情報の一元化を実現した。

デジタルカメラ「G700SE」で撮影する患部写真には、「カメラメモ」機能によってバーコードで読み取った患者番号を埋め込む。これを無線LAN経由で送信し、電子カルテから参照している。

また、診察券やリストバンド、検査等の同意書にも患者番号のバーコードを印字し、関連する文書類も一元管理を可能とした。

図 患部写真の取り込みと電子カルテ連携



財団法人 長野市保健医療公社 長野市民病院
<http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>

所在地

長野県長野市大字
 富竹1333番地1

事業内容

がん診療と救急医療を主体とする高度先進医療を提供。診療科数30科、病床数400床